

2027（令和9）年度入学者以降の学生募集について（予告）

2027（令和9）年度（2026年度実施分）以降の、横浜国立大学大学院国際社会科学府経済学専攻博士課程前期における入学者選抜方法を次のように変更します。

1. 特別選抜の廃止

・国際社会科学府経済学専攻博士課程前期（金融プログラム特別入試）の廃止

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
専攻および募集人員	廃止	経済学専攻 若干名

金融プログラム特別入試は廃止するが、金融工学副専攻プログラム（工学）を取得できる金融プログラム特別コースは継続する。

・国際社会科学府経済学専攻博士課程前期（社会人特別入試）の廃止

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
専攻および募集人員	廃止	経済学専攻 若干名

社会人向けの入試として、リスキリング特別入試を推奨する。

2. 試験科目の変更について

国際社会科学府経済学専攻博士課程前期（一般入試）

<変更点>

- ・試験の科目数を2科目から1科目に変更
また、それに伴い
 - ・試験科目名の変更、科目数の変更、出題範囲の訂正
 - ・試験時間の変更
 - ・「ERE ミクロ・マクロ」による専門試験免除の廃止

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
試験科目名 および 試験科目数の 変更	【専門科目】※2 「ミクロ経済学・マクロ経済学」 「経済史」「経済政策」「統計・計 量経済学」の4科目のうち1つを選 択し解答する。 専門科目の出題は日本語で行う が、外国人の出願者は解答を英語で 行うこともできる。ただし、語学辞 典は持ち込み不可。	【専門科目】※2 ※3 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅱ」「経済史」「経済政策」「統計 学」「計量経済学」の6科目のうち 以下の7通りの組合せから1つを出 願時に選択する。 1. 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」と「ミクロ経済学・マクロ経済 学Ⅱ」の2科目 2. 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」と「経済史」の2科目 3. 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」と「経済政策」の2科目 4. 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」と「統計学」の2科目 5. 「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅰ」と「計量経済学」の2科目 6. 「経済史」と「経済政策」の2科 目 7. 「統計学」と「計量経済学」の2 科目 専門科目の出題は日本語で行う が、外国人の出願者は解答を英語で 行うこともできる。ただし、語学辞 典は持ち込み不可。 ※「EREミクロ・マクロ」のAラン ク以上の成績証明書を提出した場合 は、「ミクロ経済学・マクロ経済学 Ⅱ」「経済史」「経済政策」「統計 学」「計量経済学」の5科目から出 願時に選択した1科目を解答する。

筆記試験時間の変更	10:00～11:00 ※1	9:00～11:00 ※1
出題範囲の変更	「ミクロ経済学・マクロ経済学」 ミクロ経済学は、価格理論（消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定など）、ゲーム理論などの分野から出題される。マクロ経済学は、ケインズモデルによる閉鎖経済もしくは開放経済の分析、経済成長理論、ミクロ的基礎を持った消費・投資理論、インフレーション・失業に対する政策分析などの分野から出題される。 「経済政策」 現代の国家と経済に関わる諸問題を 出題範囲とする。政治経済分野（資本主義経済のしくみ、経済政策総	「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」 ミクロ経済学は、消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定、ゲーム理論などの分野から基礎的な問題が出題される。マクロ経済学は、古典派モデルとケインズ派モデル、開放経済、経済成長、ミクロ的基礎を持った消費・投資理論、マクロ経済政策、インフレーション、失業などの分野から基礎的な問題が出題される。 「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅱ」 ミクロ経済学は、消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定、ゲーム理論などの分野から発展的な問題が出題される。マクロ経済学は、古典派モデルとケインズ派モデル、開放経済、経済成長、ミクロ的基礎を持った消費・投資理論、マクロ経済政策、インフレーション、失業などの分野から発展的な問題が出題される。 「経済政策」 現代の国家と経済に関わる諸問題を 出題範囲とする。政治経済分野（資本主義経済のしくみ、経済政策総

「ERE ミクロ・マクロ」による専門試験免除の廃止	論、財政、福祉、農業、地域など）と世界経済分野（世界経済論、国際金融、環境、開発など）から出題される。 「統計・計量経済学」 統計分野については、出題範囲は2変量までの確率論、推定、検定とする。計量経済分野については、出題範囲は重回帰分析・同時方程式モデルとし、行列は用いない。 ⑩と※3をすべて削除	総論、財政、福祉、農業、地域など）と世界経済分野（世界経済論、国際金融、環境、開発など）から出題される。<u>いずれか1つの分野を選択して解答することとする。</u> 「統計学」 統計分野を扱い、出題範囲は2変量までの確率論、推定、検定とする。 「計量経済学」 計量経済分野を扱い、出題範囲は重回帰分析・同時方程式モデルとし、行列は用いない。 IV 出願手続き及び期間 3. 提出書類 ⑩経済学検定試験の成績証明書 日本経済学教育協会の実施する経済学検定試験「EREミクロ・マクロ」のAランク以上の「成績証明書」を提出した者は、本学で実施する専門科目試験「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」を免除し、「EREミクロ・マクロ」の成績を「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」の成績に換算する。その希望者は「EREミクロ・マクロ」の成績証明書の原本を必ず提出すること。コピーは不可。（「Ⅵ入学者選抜方法及び試験科目」を参照すること。） Ⅵ 入学者選抜方法及び試験科目 ※3 日本経済学教育協会の実施す
----------------------------------	--	---

		る経済学検定試験「EREミクロ・マクロ」のAランク以上の成績証明書を提出した者は専門科目試験「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」を免除し、「EREミクロ・マクロ」の成績を「ミクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」の成績に換算する。
--	--	---

3. 国際社会科学府経済学専攻博士課程前期（国費等外国人留学生特別入試）

<変更点>

- ・試験科目名および選択可能な試験科目数の変更
- ・出題範囲の変更

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
試験科目名の変更 および 選択可能な試験科目数の変更	【専門科目】※2 「ミクロ経済学・マクロ経済学」「経済史」「経済政策」「統計・計量経済学」の4科目のうち1つを選択し解答する。 専門科目の出題は日本語で行うが、外国人の出願者は解答を英語で行うこともできる。ただし、語学辞典は持ち込み不可。	【専門科目】※2 「ミクロ経済学・マクロ経済学」「経済史」「経済政策」「統計学」「計量経済学」の5科目から出願時に選択した1科目を選択し解答する。 専門科目の出題は日本語で行うが、外国人の出願者は解答を英語で行うこともできる。ただし、語学辞典は持ち込み不可。
出題範囲の変更	「ミクロ経済学・マクロ経済学」 ミクロ経済学は、価格理論（消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定など）、ゲーム理論などの分野から出題される。マクロ経済学は、ケインズモデルによる閉鎖経済もしくは開放経済の分析、経済成長理論、ミクロ的基礎を持った消費・投資理論、インフレーション・失業に対する政策分析などの分野から出題される。	「ミクロ経済学・マクロ経済学」 ミクロ経済学は、消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定、ゲーム理論などの分野から出題される。マクロ経済学は、古典派モデルとケインズ派モデル、開放経済、経済成長、ミクロ的基礎を持った消費・投資理論、マクロ経済政策、インフレーション、失業などの分野から出題される。
	「統計・計量経済学」 統計分野については、出題範囲は2変量までの確率論、推定、検定とする。計量経済分野については、出題	「統計学」 統計分野を扱い、出題範囲は2変量までの確率論、推定、検定とする。 「計量経済学」

	範囲は重回帰分析・同時方程式モデルとし、行列は用いない。	計量経済分野を扱い、出題範囲は重回帰分析・同時方程式モデルとし、行列は用いない。
--	------------------------------	--

4. 国際社会科学府経済学専攻博士課程前期（リスクリング特別入試）

<変更点>

- ・出願資格の変更として、一般社会人選抜、派遣社会人選抜方式を廃止する。
- ・出願要件の変更として、在職中である場合と在職していない場合の区別を追加する。

それに伴い、

提出書類の変更

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
出願資格の変更	一般社会人選抜、派遣社会人選抜方式の廃止	
出願資格および出願要件	A. 本大学院入学の前までに2年以上の勤務経験を有し、かつ、在職中の者 B. 本大学院入学の前までに2年以上の勤務経験を有する者	A. 一般社会人選抜への出願は、次の（a）に該当し、かつ出願資格のいずれかに該当する者で、出願要件を満たす者が出願できます。 B. 派遣社会人選抜への出願は、次の（b）に該当し、かつ出願資格のいずれかに該当する者で、出願要件を満たす者が出願できます。

提出書類	企業等に在職中の者については、在職証明書の提出を求めます。 大学卒業後２年以上の勤務経験、および、現在、在職中であることを証明する文書。勤務経験を示す証明書と在職中であることを示す証明書は別々であっても支障はありません。 在職中でない者については、勤務経験証明書（大学卒業後２年以上の勤務経験を証明する文書）の提出を求めます。	(a) 本大学院入学の前までに大学卒業後原則として２年以上の勤務経験を有する者又は「本学府において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」として入学資格を認定された者で、本大学院入学の前までに２年以上の勤務経験を有するもの (b) 企業及び公官庁、研究所等に勤務する者で、所属機関の派遣研修制度に基づく推薦を得て、在職のまま派遣されるもの
-------------	---	--

2027（令和9）年度入学者以降の学生募集について（予告）

2027（令和9）年度（2026年度実施分）以降の、横浜国立大学大学院国際社会科学府経済学専攻博士課程後期における入学者選抜方法を次のように変更します。

1. 特別選抜の廃止

- ・国際社会科学府経済学専攻博士課程後期（社会人入試）の廃止

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
専攻および募集人員	廃止	経済学専攻 若干名

社会人向けの入試として、リスキリング特別入試を推奨する。

2. 出願資格の変更について

国際社会科学府経済学専攻博士課程後期（リスキリング特別入試）

<変更点>

- ・出願資格・出願要件の変更として、在職中である場合と在職していない場合の区別を整理する。

それに伴い、

提出書類を変更する。

	変更点（2027 年度入試以降）	従来（2026年度までの入試）
出願資格・出願要件の変更	A 本大学院入学の前までに2年以上の勤務経験を有し、かつ、在職中である者 B 本大学院入学の前までに2年以上の勤務経験を有する者	（1）官公庁、会社、非営利団体等に2年以上在職した経験のある者 又は本大学院入学の前までに在職期間が2年以上となる者 （2）官公庁、会社、非営利団体等から派遣された者
提出書類	企業等に在職中の者については、在	

	職証明書[※]の提出を求めます。 大学卒業後 2 年以上の勤務経験、および、現在、在職中であることを証明する文書。勤務経験を示す証明書と在職中であることを示す証明書は別々であっても支障はありません。 在職中でない者については、勤務経験証明書（大学卒業後 2 年以上の勤務経験を証明する文書）の提出を求めます。	
--	--	--

2027（令和 9）年度入学者以降の学生募集について（予告）

2027（令和 9）年度（2026 年度実施分）以降の、横浜国立大学大学院国際社会科学府国際経済法学専攻博士課程前期・博士課程後期における入学者選抜方法を次のように変更します。

変更事項

- ① 入試方法の変更 博士課程前期一般入試（一般入試、私費外国人留学生）
- ② 入試方法の変更 博士課程前期一般入試（社会人）
- ③ 提出書類の変更 博士課程前期
- ④ 外国語試験について 博士課程後期（一般入試）
- ⑤ 提出書類の変更 博士課程後期

- ① 入試方法の変更 博士課程前期一般入試（一般入試）：現行の一般A,一般B,一般C,私費外国人留学生をあらため、「一般選抜」とし筆記試験を下記方式とする。

＜2027（令和 9）年度（2026 年度実施分）入試以降＞

IV. 入試方法

1. 一般選抜

入試は、筆記試験、口述試験および提出書類の内容を総合して合否を判定します。

a 筆記試験

筆記試験では、希望指導教員の下で研究計画を遂行するのに必要な専門知識を問います。

- ・英語試験：筆記試験を行わず、TOEFL、TOEIC L&R、またはIELTS のスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。
- ・専門試験：第1希望指導教員の専門分野を1つ選択

＜現行＞

IV. 入試方法

1. 一般入試 および 特別入試

入試は、筆記試験、口述試験および提出書類の内容を総合して行います。

(1) 筆記試験の試験科目

		受験者の区分	試験科目
一般入試	一般A	日本の大学において学士の学位を取得した者および 本大学院入学の前までに取得見込みの者 並びに外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者および本大学院入学の前までに修了見込みの者	英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、または IELTS のスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。 筆記試験（専門科目）： ◎次のうち2科目を受験してください。 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学
	一般B	一般Aの要件に加え、憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、経済法、労働法、知的財産法を専攻する予定の者	筆記試験（専門科目）： ◎次のうち、憲法、民法、刑法のいずれかを含め、2科目を受験してください。 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、租税法、経済法、労働法、知的財産法

--

一般入試	一般 C	一般 A の要件に加え、民法、商法、民事訴訟法、国際法、経済法、労働法、知的財産法、開発協力論、国際行政論、法理学を専攻する予定の者	英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、または IELTS のスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。 筆記試験（専門科目）： ◎次のうち 1 科目を受験してください。 民法、商法、民事訴訟法、国際法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学
	私費外国人留学生	日本国籍を有しない者であって、かつ、日本における永住資格を有しない者	英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、または IELTS のスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。 筆記試験（専門科目）： ◎次のうち 1 科目を受験してください。 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学

② 入試方法の変更 博士課程前期一般入試（社会人）：筆記試験を下記方式とする。

<2027（令和 9）年度（2026 年度実施分）入試以降>

IV. 入試方法

3. 社会人選抜

入試は、筆記試験、口述試験および提出書類の内容を総合して合否を判定します。

a 受験者の区分：本大学院入学の前までに大学卒業後原則として 3 年以上の職務経験を有し、かつ本募集要項Ⅱ. 1. に示す出願資格のいずれかに該当する者

b 筆記試験

筆記試験では、希望指導教員の下で研究計画を遂行するのに必要な専門知識を問います。

・専門試験：第 1 希望指導教員の専門分野を 1 つ選択

※TOEFL550（iBT79）点以上、TOEIC L&R 730 点以上、またはIELTS6.0 以上のスコアを取得したものは専門試験の受験を免除します。



<現行>

IV. 入試方法

1. 一般入試 および 特別入試

入試は、筆記試験、口述試験および提出書類の内容を総合して行います。

(1) 筆記試験の試験科目

		受験者の区分	試験科目
一般入試	社会人	学士の学位を取得した後、官公庁、民間企業等に常勤職員として 1 年以上在職した経験のある者（本大学院入学の前までに在職期間が 1 年以上となる者を含む）	筆記試験（専門科目）： ◎次のうち 1 科目を受験してください。 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学 ※TOEFL550(iBT79)点以上、TOEIC730 点以上、または IELTS6.0 以上のスコアを取得した者は専門科目筆記試験の受験を免除します。

③ 提出書類の変更 博士課程前期

	2027（令和9）年度（2026年度実施分）入試以降	現行
TOEFL、TOEIC L&R、 またはIELTSのスコア証 明書	一般選抜、および社会人選抜のうち筆記試験専門試験 免除希望者のみ提出してください。	一般入試のうち一般A、一般C、私費外国人留学生受験者、 および、社会人一般のうち <u>専門科目筆記試験</u> 免除希望者のみ 提出してください。
在職証明書	学士の学位を取得後 <u>3年以上</u> の勤務経験を証明する書 類。 ※社会人選抜のみ	学士の学位を取得後 <u>1年以上</u> の勤務経験を証明する書類。

④ 外国語試験について 博士課程後期（一般入試）

＜2027（令和 9）年度（2026 年度実施分）入試以降＞

VI. 試験方法

試験は、外国語試験、論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。

1. 外国語試験

外国語試験は、英語、ドイツ語、フランス語の中から 1 ヶ国語を選択してください。以下（1）又は（2）に記載する対象試験のスコア証明書を用いた選抜とし、筆記による試験は行いません。

選択した 1 ヶ国語について、以下（1）又は（2）に従いいずれかの対象試験のスコア証明書を提出してください。

（）内を削除

※ 1 を削除

※ 2 を削除

※ 英語、ドイツ語またはフランス語によって教育が行われる修士課程等を修了した者、もしくは修了見込みの者は外国語試験が免除されます。

（1）英語（TOEFL、TOEIC L&R、IELTS スコア）

TOEFL、TOEIC L&R または IELTS のスコア（成績）証明書の提出書類、提出方法に変更はありません。

＜現行＞

VI. 試験方法

試験は、外国語試験、論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。

1. 外国語試験 英語、ドイツ語、フランス語の中から 1 題選択

（日本の法科大学院修了者及び修了見込み者は試験が課されません。）

※ 1. 辞書の持ち込みができます。（電子辞書は持ち込みできません。）

※ 2. TOEIC730 点以上の者あるいは、TOEFL PBT 換算 550 点（iBT79 点）以上、IELTS スコア 6.0 以上の者は外国語試験が免除されます。

※ 3. 英語、ドイツ語またはフランス語によって教育が行われる修士課程等を修了した者、もしくは修了見込みの者は外国語試験が免除されます。

(2) ドイツ語、フランス語

希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択してください。(出願時、利用言語を願書に記載してください。)

以下の対象となる CEFR 準拠検定試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を提出してください。出願期間末日から過去 5 年以内に受験した試験のスコア証明書を提出してください。なお、提出されたスコア証明書は面接時に返却します。

- ・ドイツ語 : Goethe-Zertifikat; telc; DSH(Deutsche Sprachprüfung für den Hochschulzugang); Test Daf (Deutsch als Fremdsprache) ; PWD(Prüfung Wirtschaftsdeutsch International)等
- ・フランス語 : DELF/DALF (フランス国民教育省認定フランス語資格試験) ; TCF (フランス語能力テスト) 等

⑤ 提出書類の変更 博士課程後期（一般入試）

＜2027（令和 9）年度（2026 年度実施分）入試以降＞

3. 提出書類

④ 外国語スコア証明書

詳細は「VI. 試験方法」を参照。

TOEFL、TOEIC L&RまたはIELTSのスコア（成績）証明書の提出書類、提出方法に変更はありません。

＜現行＞

3. 提出書類

④ TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書

TOEFL PBT 換算 550 点(iBT79 点)以上、TOEIC 730 点以上または IELTS スコア 6.0 以上の成績証明書（外国語【英語】試験の免除を希望する場合のみに必要です。VI. 試験方法を参照してください）。



2027(令和9)年度入学者以降の学生募集について(予告)

2027(令和9)年度入学者以降の、横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程前期・後期学生募集(2026(令和8)年度実施～)における入試方法を次のように変更します。

- 1 大学院環境情報学府博士課程前期・後期学生募集における一般選抜で課す筆記試験の内容を以下のとおり変更します。

大学院環境情報学府博士課程前期学生募集【一般選抜】

・自然環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	◎生態学プログラム (教育プログラムコード: HH1) 生態学プログラムにおける教育分野(生態科学、生命科学、<u>地質学</u>、<u>古生物学</u>、<u>生物海洋学</u>、法学基礎)に関する問題群の中から選択(200点) ◎地球科学プログラム (教育プログラムコード: HH2) 地球科学プログラムにおける教育分野(<u>地質学</u>、<u>古生物学</u>、<u>生物海洋学</u>、<u>生命科学</u>、<u>生態科学</u>)に関する問題群の中から選択(200点) ◎環境学術プログラム (教育プログラムコード: HH3) 環境学術プログラムにおける教育分野(法学基礎、生態科学)に関する問題群の中から選択(200点)	◎生態学プログラム (教育プログラムコード: HH1) 生態学プログラムにおける教育分野(生態科学、生命科学、<u>地球科学</u>、法学基礎)に関する問題群の中から選択(200点) ◎地球科学プログラム (教育プログラムコード: HH2) 地球科学プログラムにおける教育分野(<u>地球科学</u>、生命科学、生態科学)に関する問題群の中から選択(200点) ◎環境学術プログラム (教育プログラムコード: HH3) 環境学術プログラムにおける教育分野(法学基礎、生態科学)に関する問題群の中から選択(200点)

※ 人工環境専攻、情報環境専攻の筆記試験の内容に変更はありません。

大学院環境情報学府博士課程後期学生募集【一般選抜】

・自然環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	◎生態学プログラム (教育プログラムコード：TH1) 生態学プログラムにおける教育分野（生態科学、生命科学、<u>地質学</u>、<u>古生物学</u>、<u>生物海洋学</u>、法学基礎）より出題（200点） ◎地球科学プログラム (教育プログラムコード：TH2) 地球科学プログラムにおける教育分野（<u>地質学</u>、<u>古生物学</u>、<u>生物海洋学</u>、生命科学、生態科学）より出題（200点） ◎環境学術プログラム (教育プログラムコード：TH3) 環境学術プログラムにおける教育分野（法学基礎、生態科学）より出題（200点）	◎生態学プログラム (教育プログラムコード：TH1) 生態学プログラムにおける教育分野（生態科学、生命科学、<u>地球科学</u>、法学基礎）より出題（200点） ◎地球科学プログラム (教育プログラムコード：TH2) 地球科学プログラムにおける教育分野（<u>地球科学</u>、生命科学、生態科学）より出題（200点） ◎環境学術プログラム (教育プログラムコード：TH3) 環境学術プログラムにおける教育分野（法学基礎、生態科学）より出題（200点）

※ 人工環境専攻、情報環境専攻の筆記試験の内容に変更はありません。

Student Recruitment for Entrance in 2027 and Beyond (Advance Notice)

The following changes will be applied in the admissions process for the Yokohama National University Graduate School of Environment and Information Sciences Student Application, starting from the 2026 application process, for the 2027 academic year and onward.

1 The content of the written examination for the General Screening for the Master's and Doctoral Programs of the Graduate School of Environment and Information Science will be changed as follows:

Environment and Information Sciences Master's Programs Admission guidelines for regular students

•Department of Natural Environment

Screening sessions	Previous	Revised
Written examination	◎Ecology and Bioscience Program (code : HH 1) Free choice from questions related to studies pursued in the Ecology and Bioscience Program (i.e., ecological science, life science, <u>geology, paleontology, biological oceanography</u> , and basic jurisprudence) (200 points)	◎Ecology and Bioscience Program (code : HH 1) Free choice from questions related to studies pursued in the Ecology and Bioscience Program (i.e., ecological science, life science, <u>earth science</u> , and basic jurisprudence) (200 points)
	◎Earth and Biological Science Program (code : HH 2) Free choice from questions related to studies pursued in the Earth and Biological Science Program (i.e., <u>geology, paleontology, biological oceanography</u> , life science, and ecological science) (200 points)	◎Earth and Biological Science Program (code : HH 2) Free choice from questions related to studies pursued in the Earth and Biological Science Program (i.e., <u>earth science</u> , life science, and ecological science) (200 points)
	◎Environmental Studies Program (code : HH 3) Free choice from questions related to studies pursued in the Environmental Studies Program (i.e., basic jurisprudence and ecological science) (200 points)	◎Environmental Studies Program (code : HH 3) Free choice from questions related to studies pursued in the Environmental Studies Program (i.e., basic jurisprudence and ecological science) (200 points)

※ There is no change in the content of the written examinations for the artificial environment and information environment majors.

Environment and Information Sciences Doctoral Programs Admission guidelines for regular students

•Department of Natural Environment

Screening sessions	Previous	Revised
Written examination	◎Ecology and Bioscience Program (code : T H 1) Questions related to studies pursued in the Ecology and Bioscience Program (i.e., ecological science, life science, <u>geology, paleontology, biological oceanography</u>, and basic jurisprudence) (200 points) ◎Earth and Biological Science Program (code : T H 2) Questions related to studies pursued in the Earth and Biological Science Program (i.e., <u>geology, paleontology, biological oceanography</u>, life science, and ecological science) (200 points) ◎Environmental Studies Program (code : T H 3) Questions related to studies pursued in the Environmental Studies Program (i.e., basic jurisprudence and ecological science) (200 points)	◎Ecology and Bioscience Program (code : T H 1) Questions related to studies pursued in the Ecology and Bioscience Program (i.e., ecological science, life science, <u>earth science</u>, and basic jurisprudence) (200 points) ◎Earth and Biological Science Program (code : T H 2) Questions related to studies pursued in the Earth and Biological Science Program (i.e., <u>earth science</u>, life science, and ecological science) (200 points) ◎Environmental Studies Program (code : T H 3) Questions related to studies pursued in the Environmental Studies Program (i.e., basic jurisprudence and ecological science) (200 points)

There is no change in the content of the written examinations for the artificial environment and information environment majors.